

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業(乳幼児健診等環境整備事業)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671600		まちづくり推進部総務課			磯崎	64113

事業の概要									
事業の概要		高津区役所1階保健ホールの整備を行い、劣化状態改善及び安全体制の確保をする。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		令和3年度	令和3年度						
地域の課題と現状		高津区役所(保健所高津支所)1階保健ホールは、竣工以来1度も改修を行っておらず、壁クロスの部分剥離や扉指挟みガードの汚損など、内装の劣化が著しい。 特に、扉下番部の指挟みガードについては、乳幼児のケガに直結するリスクがあるため、早急に改修する必要がある。 あわせて、壁面もクッション性のある壁材に張り替えることで、転倒等の際のリスクを軽減させるだけでなく、乳幼児健診のほか両親学級等で来庁する区民に対し、区役所(保健所)のイメージアップを図る。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費							649	649
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源								

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区役所1階保健ホールの整備を行い、劣化状態改善及び安全体制の確保をする。
今年度の事業の取組内容	高津区役所1階保健ホールの劣化部分補修及び壁材張替工事。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		高津区役所1階保健ホールの劣化部分補修及び壁材張替工事を実施。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	1階保健ホール整備範囲	目標	/	/	/	79	㎡	
				実績	/	/	/	79		
	2			目標	/	/	/			
				実績	/	/	/			
	3			目標	/	/	/			
				実績	/	/	/			
	4			目標	/	/	/			
実績				/	/	/				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		施設の劣化や硬い壁は乳幼児が衝突時に怪我の恐れがあるため、快適な空間を提供するためにも整備による施設環境の改善は必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(4年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		庁舎内衛生状態の更なる確保のため、施設整備の必要の有無について検討を進めていく。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	施設の劣化や硬い壁は乳幼児が衝突時に怪我の恐れがあるため、整備による施設環境の改善は必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	施設整備を実施した事により、より堅実な安全体制の確保が出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	施設安全体制の更なる確保のため、整備必要箇所の有無について検討を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 施設整備を実施した事により、より堅実な安全体制の確保が出来た。今後は安全体制の更なる確保のため、整備必要箇所の有無について検討を進めていく。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業(2Fテラス整備事業)			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671600		まちづくり推進部総務課			磯崎	64113

事業の概要									
事業の概要		高津区役所2階テラスの整備を行い、劣化状況及び衛生状態の改善をする。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		令和3年度	令和3年度						
地域の課題と現状		高津区役所2階テラスについて、長年使用されていなかったため床面の劣化による凹凸が著しく、降雨のたびに水溜まりが発生する状況である。また、花壇も同様に放置されているで、植栽のうち低木の根が伸びたことにより一部コンクリートにクラックが発生している。当該テラスは地域振興課相談情報担当の相談者待合から見える位置にあり、景観が損なわれているだけでなく、クラックを放置すると漏水・浸水の原因となるため早急に補修する必要がある。また、水溜まりは感染症を媒介する蚊の幼虫(ボウフラ)の発生源となるため、併せて床の不陸補修の必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費							429	429
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源								

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区役所2階テラスの整備を行い、劣化状況及び衛生状態の改善をする。
今年度の事業の取組内容	高津区役所2階テラスの劣化部分補修及び植栽の撤去。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		高津区役所2階テラスの劣化部分補修及び植栽の撤去を実施。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	2階テラス整備範囲	目標	/	/	/	95	㎡	
				実績	/	/	/	95		
	2			目標	/	/	/			
				実績	/	/	/			
	3			目標	/	/	/			
				実績	/	/	/			
	4			目標	/	/	/			
実績				/	/	/				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		施設の劣化による衛生状態の悪化は相次いで発生しており、市民に快適な空間を提供するためにも整備による施設環境の改善は必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(4年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		庁舎内衛生状態の更なる確保のため、施設整備の必要の有無について検討を進めていく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	施設劣化に伴い衛生状態が悪化するため、施設整備は必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	施設整備を実施した事により、より堅実な衛生状態の確保が出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	施設衛生状態の更なる確保のため、整備必要箇所の有無について検討を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 施設整備を実施した事により、より堅実な衛生状態の確保が出来た。今後は施設衛生状態の更なる確保のため、整備必要箇所の有無について検討を進めていく。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称	
款	項	目	大	中	小		
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業(高津区プロモーション推進即応事業)	
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先
			671650	まちづくり推進部企画課		桐ヶ谷	64122

事業の概要										
事業の概要		令和3年10月に締結した川崎フロンターレとのまちづくり協定に基づく高津区プロモーションの推進								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費				
		令和3年度	令和3年度							
地域の課題と現状		本市は、川崎フロンターレとの連携・協力により、SDGsの達成と魅力あるまちづくりに向け、高津区の地域特性に応じた取組を進めていくため、令和3年10月にまちづくり協定を締結した。 当該、まちづくり協定を締結した事実や、区とフロンターレとの連携の取組について、スピード感をもって区民に周知することで、高津区の区セールス・プロモーションを強力に推進するとともに、フロンターレの存在を通じて区民のシビックプライドの醸成につなげていく契機とする。								
予決算 (単位:千円)	年度	事業費	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		財源内訳								641
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源								

計画 (Plan)	
事業の目的	令和3年10月に締結した川崎フロンターレとのまちづくり協定に基づく高津区プロモーションの推進
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結周知用懸垂幕の作成・掲示 区役所庁舎正面玄関前の床面用サインシート作成・設置 川崎フロンターレ、高津区、陸前高田市のコラボによるオリジナル婚姻届の制作 川崎フロンターレ選手による転入者向けウェルカムメッセージの制作

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結周知用懸垂幕の作成・掲示 区役所庁舎正面玄関前の床面用サインシート作成・設置 川崎フロンターレ、高津区、陸前高田市のコラボによるオリジナル婚姻届の制作 川崎フロンターレ選手による転入者向けウェルカムメッセージの制作 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	協定締結周知用懸垂幕の作成・掲示	目標				1	式
				実績				1	
	2	成果指標	区役所庁舎正面玄関前の床面用サインシート作成・設置	目標				1	式
				実績				1	
3	成果指標	川崎フロンターレ、高津区、陸前高田市のコラボによるオリジナル婚姻届の制作	目標				2000	部	
			実績				2000		
4	成果指標	川崎フロンターレ選手による転入者向けウェルカムメッセージの制作	目標				2000	部	
			実績				2000		

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	複雑化する地域課題の解決に向けて、多様な主体の連携により、それぞれの強みを生かした取組みが求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施 (4年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	高津区、川崎フロンターレの双方が有する資源・強み・つながりなどを持ち寄り、高津区のまちづくり、地域コミュニティの活性化、地域課題の解決等に向けた相互連携を図る必要がある。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多様な主体の連携により複雑化した地域課題解決に向けた取組みが求められる	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	川崎フロンターレの発信力を生かした効果的な区のプロモーションが実施できている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域課題の解決に向けて様々な分野で、連携していく必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 川崎フロンターレの発信力により、効果的なプロモーションが実施できた。今後は、様々な分野での連携に向けて、検討を進めていく。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業(防犯カメラ設置事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			673900		高津区役所橋出張所		持木	74111	

事業の概要									
事業の概要		防犯カメラの新設を行い、高津区役所橋出張所及びプラザ橋の防犯体制を整える。							
実施期間		事業開始年度 令和3年度	事業終了年度 令和3年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
地域の課題と現状		近年、公共施設での様々な犯罪行為が多発しており、高津区管内においても画紙のぼらまき事件が起きている。窓口でも予期しないトラブル等が想定され、庁舎内外の安全管理の観点から防犯カメラを新設し、防犯体制を整える必要がある。また、トラブル発生後に事後検証の材料として、録画映像を確認する必要があり、原因の解明及びトラブル解決のために必須のためカメラ記録装置等の新設も行う。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費							1,682	1,682
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源							1,682	1,682

計画 (Plan)	
事業の目的	防犯カメラの新設を行い、防犯体制を整える。
今年度の事業の取組内容	防犯カメラ本体の設置及びカメラ記録装置等の新設。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		防犯カメラ本体の設置及びカメラ記録装置等の新設を実施した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	H31年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	防犯カメラ設置台数	目標					8	台
			実績					8	
	2 成果指標		目標						
			実績						
	3 成果指標		目標						
実績									
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		暴力事件や恐喝などの犯罪が相次いで発生しており、庁舎内の犯罪抑制及びトラブル発生時の迅速な対応をするためにも監視カメラによる防犯体制の確保は必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和4年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		庁舎内防犯体制の更なる確保のため、監視カメラを増設する必要性の有無について検討を進めていく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	犯罪抑制及びトラブル発生時の対応の為に、カメラ記録装置更新及び監視カメラの設置は必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カメラ記録装置更新及び監視カメラの新設もより、より堅実な庁舎内外の防犯体制の確保が出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	庁舎内外の防犯体制の更なる確保のため、監視カメラを増設する必要性の有無について検討を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 防犯カメラ本体の設置及びカメラ記録装置等の新設したことにより、防犯体制の確保が出来た。今後は庁舎内外の防犯体制の更なる確保のため、監視カメラを増設する必要性の有無について検討を進めていく。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業(保健所内乳幼児安全対策事業)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675130		地域みまもり支援センター 地域支援課			山森	64831

事業の概要									
事業の概要		地域みまもり支援センター内で実施する子育て支援事業を安心・安全に実施するための環境整備、感染症対策、事故予防に努めます。							
実施期間		事業開始年度 令和3年		事業終了年度 令和3年		予算中事業		区の新たな課題即応事業	
地域の課題と現状		保健所内で実施する子育て支援事業では、0歳から未就園児の親子が来所される。乳幼児が安全に過ごせるために、緩衝作用のあるジョイントマットを床一面に敷き、転倒時の事故予防や寝転ぶ際の緩衝マットとして活用していきます。コロナ禍であり、大判のマットを利用することでソーシャルディスタンスも保たれ、感染予防対策が講じられます。来所される親子が安心して事業に参加でき、市民サービスの向上につなげていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度				R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費								
		国庫支出金						194	154
財源内訳	市債								
	その他特財一般財源						194	154	

計画 (Plan)	
事業の目的	地域みまもり支援センター内の子育て支援事業に来所される親子の事故予防を行います。
今年度の事業の取組内容	ジョイントマット(規格100cm×100cm、厚さ1.8cm)を40枚購入し、保健ホールで実施する様々な子育て支援事業の際に活用し、事故予防に努めます。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		幼児相談、双子の会、すくすくキッズ、とことこ、たかつ親子、赤ちゃんが来た等の事業時に使用								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		コロナ禍であり、区役所主催の子育て支援事業は区民ニーズが高いです。また、保健所実施ということで感染予防対策や事故予防対策は事業を実施するうえでもっとも重要なことです。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍であり、感染予防対策を講じることが必要です。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事故予防が講じられ、怪我無く安全に過ごせています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業のため	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 消耗品になるので、経年劣化や破損汚損が生じていきます。今後は、利用ごとにアルコール消毒を行うなどして、利用する親子が安心・安全に利用できるように環境整備を行っていきます。		

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業(待機児童対策広報推進事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675150		地域みまもり支援センター児童家庭課		茂原	64873	

事業の概要											
事業の概要		保育園利用予定者の個々のニーズに合った保育園選定の参考となるよう、窓口の待合室において、区内保育園の案内映像の配信を行い、受付を待つ来庁者に向けて適切な情報提供を行う必要があることから、今年度に故障した映像配信機器(DVDプレーヤー)の修理を行う。									
実施期間		事業開始年度 令和3年度		事業終了年度 令和3年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業			
地域の課題と現状		高津区では、令和3年4月における保育所等の保留者が278名と依然高い水準にある。また、令和3年4月における新設認可保育園(認定保育園の認可化等除く)が2園にとどまっており、令和4年4月においても、認可保育園の新設については厳しい状況が予想される。そのような状況下で「待機児童ゼロ」を達成するには、認可保育所だけでなく、認可外保育所(川崎認定保育園)も含めたマッチングが引き続き重要であり、そのためには利用者にとって必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となっている。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		財源内訳 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	事業費								6		6
									6		6

計画 (Plan)	
事業の目的	映像配信機器(DVDプレーヤー)の修理を行うことで、申請や相談のため窓口に来庁した保育所利用予定者に対し、区内の保育所施設の紹介映像を待合室で引き続き配信でき、もって効率的かつ効果的な情報提供の維持を図る。
今年度の事業の取組内容	令和3年度に発生した映像配信機器(DVDプレーヤー)の故障に伴い、当該機器の交換修理を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		映像配信機器(DVDプレーヤー)の交換修理により、従前と同様の情報提供を維持することができた。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
		実績								
	4	目標								
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響に伴って保護者の子育ての考え方やニーズが多様化している中、「待機児童ゼロ」を達成するためには、保護者と保育施設の適切なマッチングに向けた確かな情報提供を保護者に対し引き続き行う必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今の社会状況の中、保育に対する保護者のニーズも多様化しており、保育施設とのマッチングを的確に行うためには、引き続き関連する情報について的確に提供していく必要があると考える。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	的確な情報提供を行うことで、保護者の円滑な保育活動に向けた支援や保育施設とのマッチングにおいて一定の効果があると考える。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	当該事業の実施にあたっては必要最低限の経費支出にとどめており、当面の間、別途の経費支出を見込むことなく、従前と同様の情報提供を維持することができることから、適切な費用対効果と考える。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 映像配信機器(DVDプレーヤー)の交換修理により、待合室等で受付を待つ来庁者に対し、これまでと同様に保育所施設の情報を効率的に案内することができた。これにより、当面の間は効果的な広報が持続可能であることから、令和3年度をもって事業を終了することとする。